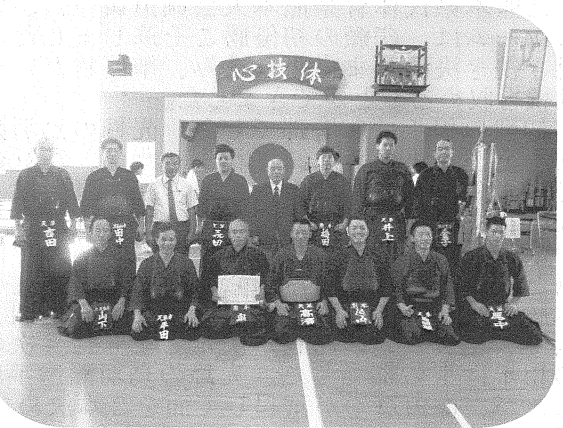


## 6段合格おめでとう！

8月30日、福岡市で行われました全日本剣道連盟の6段審査会で、天草剣道連盟から、高濱祐治君（有明）、鶴本徹君（河浦）、橋口貴文君（牛深）の3名の方が、見事合格されました。誠にありがとうございます。近年、天草剣道連盟から、高段審査（6段、7段）の合格者が続出しています。これは、会員各位の向上心と日頃の稽古の賜であると思います。お互いにそれぞれの段に満足することなく、更に稽古に励み、更に上を目指して、技量の向上と人格を磨くことに努めて欲しいと思います。そして、最終的には、最高峰である8段位を目指して欲しいと思います。「天草から8段を」という天草剣道連盟の悲願を達成すべく、お互いに切磋琢磨していきましょう。

## 3地区(天草・宇城・島原)親善剣道大会で、優勝(中学生・一般)

8月23日（日）天草市総合武道館剣道場において、3地区親善剣道大会が開催されました。一般の部には、濱川、井上、尾中、梅田、森田、鳥羽瀬、高濱、中田、迫内、田中、吉田、山下、平田、金子、泉の15選手が出場しました。天草チームは、対島原、対宇城の2試合共に、前半からリードを奪い、中盤でも確実にポイントをあげて、危なげなく勝利を収めました。県民体育祭に出場する上天草市及び天草市のメンバーの多くが出場してくれたことも大きな勝因ですが、出場した選手一人一人が日頃の練習の成果をいかに発揮してくれたおかげだと思いました。そして、天草の層の厚さを実感することができました。今回、諸事情にて出場できなかった会員の中にも、実力者がかなりいることを考えると、今後の大会においても、天草の総力を挙げて取り組めば、連続優勝を続けていけるのではないかと思います。会員の皆様には、8月下旬にかけて開催される3地区親善剣道大会への出場を一つの目標として掲げ、日頃の稽古に励んで欲しいと願っています。



優勝した天草チーム（一般）

また、栖本中、有明中、姫戸中の連合軍で臨んだ中学生の部でも、天草チームが見事優勝を飾りました。このメンバーの中から、将来一般チームの一員として活躍してくれる選手が出て欲しいと願っています。今後の活躍を期待致します。

## 第61回全日本東西対抗剣道大会が熊本市で開催される！

9月6日（日）、標記大会が熊本市総合体育館において、全国から東軍、西軍各女子5名、男子35名の精鋭が出場して開催されました。女子の部では、熊本県出身の渡邊タイ選手、田山秋恵選手の活躍で、西軍が3対2で勝ちました。男子の部には、熊本県から、亀井徹、清水新二、益田大輔、古澤庸臣の4選手が出場しました。他に熊本県出身者が8名も出場し、武道（剣道）王国熊本の感を一層強くしました。試合は、前半から西軍が終始リードし、20対15で西軍が優勝しました。熊本県から出場した4選手はいずれも勝利し、会場から盛大な拍手を受けていました。古澤選手は、鋭い踏み込みからコテを決めました。益田選手は、豊富な練習量に裏打ちされた自信満々の試合運びで、コテとメンの2本勝ち。清水選手は、危なげない試合運びで見事なコテで1本勝ちしました。結局、清水選手の勝利で、3人を残して西軍の勝利が決定し、清水選手は優秀選手に選ばれました。西軍の大將亀井選手は、構えが崩れることなく相手の攻撃を余裕を持って凌ぎ、延長戦の末、メンを奪って貫禄の勝利でした。各軍35名の内訳は、6段3名、7段15名、8段17名。いずれも、世界選手権大会、日本選手権大会、東西対抗、都道府県対抗、国体などで上位入賞の経歴の持ち主で、素晴らしい試合が展開されました。私が一番印象に残っているのは、北海道の栄花選手が打ったメンでした。姿勢、打つ機会、打突の力、気合い、全てが一つになった素晴らしい技で、決まった瞬間に会場がどよめきました。しかし、中には、打たれまいという気持ちが強すぎて、左拳が中心線から大きくはずれたり、俗に言う三所隠しを繰り返す選手や打突や打突後の姿勢が崩れる選手も見受けられました。また、35名という大人数の試合者、10分の試合時間で、しかも引き分けなしで勝負が決するまで延長戦が行われ、試合開始から終了まで約7時間もかかり、選手はもちろんですが観客も集中力を維持するのが大変でした。私は、選手の人数を20名程度に絞り、試合時間を7分にするか、勝負がつかない場合は引き分けにするなどして、大会の所要時間を短縮する必要があるのではないかと感じました。何はともあれ、日本を代表する高段者の真剣勝負を間近で見ることができて、私の剣道人生の良き思い出になると共にこれからの修行の参考になる素晴らしい機会だったと思います。剣道において「看取り稽古」の大切さを改めて感じた東西対抗剣道大会でした。大会を運営されました熊本県剣道連盟の先生方、関係者のみなさんに敬意と感謝の意を表します。お疲れ様でした。ありがとうございました。

【雑感】4歳の子どもの父親から、「姿勢や礼儀が良くなる剣道を是非させたいと思っています。」と言われました。剣道クラブの指導者は、このような期待にしっかりと応える責務があると思います。